

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-1-1	3-1-2	2-1-3	事業名	福祉のまち推進事業		
担当	保健福祉局総務部総務課 田畑 211-2932						
全体計画							
事業内容	福祉のまち推進事業は、幅広い市民の福祉活動への参加により、だれもが安心して暮らせる地域社会をつくることを目的としており、区単位に区福祉のまち推進センター(以下、「区福まちセンター」)を、おおむねまちづくりセンターごとに地区福祉のまち推進センター(以下、「地区福まちセンター」)を、それぞれ設置している。 市内の地区福まちセンター(88地区)では、地域住民が主体となり、見守り・安否確認や高齢の方、子育て家庭の交流会等の活動を展開し、区福まちセンターでは、地区福まちセンターに対し、活動活性化のための助言・指導及び地区間の情報の共有化を図っている。			<年度別の事業内容>			
				平成19年度 区福祉のまち推進センター活動事業 地区福祉のまち推進センター活動支援事業 平成20年度 上記2事業及び福祉のまち推進センターステップアップ事業 平成21年度 平成20年度と同様 平成22年度 平成20年度と同様			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	補助金の交付により、各区社会福祉協議会、各地区福祉のまち推進センターでは以下の事業を実施。 また、地区福まちセンター活動者やNPO・ボランティア活動者、学識経験者等をメンバーとした検討会を開催し、地区福まち活動活性化のための取組のヒント等をまとめたパンフレットや福まち活動を紹介したチラシを作成した。 1 区福祉のまち推進センター活動事業 (1) 地区福祉のまち推進センター充実強化事業 (2) ボランティア需給調整、研修・交流事業 (3) 地域福祉ネットワーク事業 2 地区福祉のまち推進センター活動支援事業 (1) 活動費助成 88地区 (2) 地区拠点スペース設置数 59地区 (3) 借り上げ料助成 19地区 (4) 備品整備費助成(新規) 1地区 (5) 機能強化費助成(モデル地区) 38地区 (6) 機能強化費助成(大規模地区) 21地区			補助金の交付により、各区社会福祉協議会、各地区福祉のまち推進センターでは以下の事業を実施する。 また、福祉のまち推進事業の更なる展開を推進するため、福祉のまち推進センターステップアップ事業を実施する。 1 福祉のまち推進センター活動事業 平成19年度と同様 2 地区福祉のまち推進センター活動支援事業 平成19年度と同様 3 福祉のまち推進センターステップアップ事業 (1) ご近所パワー引き出し事業 福まちアドバイザーを地区に派遣し、地域課題の把握、住民意識の共有化等の取組を支援(3地区) (2) 福まちの達人養成講座 次世代リーダー養成研修(20人)、福まち学習会(20人×5地区) (3) 福まちウィーク 福まちパネル展(9月16日～22日)、地域福祉市民活動フォーラム(9月18日)			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
地区福祉のまち推進センター拠点設置数(累計)		58地区	59地区	66地区	70地区	74地区	74地区
福祉推進員数(累計)		6,170人	6,174人	6,400人	6,500人	6,600人	6,600人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 福祉のまち推進事業は、市民の主体的な参加による地域の支え合い活動として行われている。							
企業等との連携・協働							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり 活動や拠点の借上げに係る費用を支援するとともに、地区福まちの活動活性化のための住民を主体とした取組のヒント等を紹介したパンフレットや福まち活動を紹介したチラシを活用し、地域の支え合い活動が一層行いやすくなるよう支援している。							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	3-1-1	3-1-2	2-1-3	事業名	福祉のまち推進事業	
評価(成果)			課題			
地域住民が主体となって行う安否確認や交流会等の活動を支援することにより、地域における支え合い活動の活性化を図った。			<p>少子高齢化社会を迎え、核家族化や地域での人間関係の希薄化が進んでいる。一方で、在宅で支援を必要とする方の増加や福祉ニーズの多様化といった状況がある。</p> <p>福祉のまち推進事業は、地域住民同士の支え合い活動であることから、団塊世代退職者など新たな担い手の発掘、地域課題の共有化や課題解決に向けた取組への支援等を実施することにより、地域の福祉力を引き出す必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向						
今後見込まれる団塊世代退職者が地域で活動する場の提供、介護予防などの新たな福祉ニーズへの対応などの課題や地域事情を踏まえ、福祉のまち推進事業の更なる展開を推進する。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市債					
予算	事業費	83,224	86,288	-	-	169,512
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	80,988	-	-	-	80,988
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度] 地区拠点スペース設置数について、地区で拠点確保の準備が整わなかったことから、当初の予定設置数を下回った。						
[20年度]						